

信濃教育会編
中学校道徳資料集『わたしの築くみちしるべ』

2019 年度版
道徳教科書との併用資料

目 次

教科書と併せて信教版の資料を有効に活用していただけるように ……………	1
『きみが いちばん ひかるとき』（光村図書）との併用計画例 ……………	2
『輝け未来』（学校図書）との併用計画例 ……………	3
信教版道徳資料集『わたしたちの築くみちしるべ』から選択した資料① ……	4
信教版道徳資料集『わたしたちの築くみちしるべ』から選択した資料② ……	6
『わたしの築くみちしるべ 1年』 指導案例 ……………	8
『わたしの築くみちしるべ 2年』 指導案例 ……………	10
『わたしの築くみちしるべ 3年』 指導案例 ……………	12
『わたしの築くみちしるべ 1年』 主題一覧表 ……………	14
『わたしの築くみちしるべ 2年』 主題一覧表 ……………	16
『わたしの築くみちしるべ 3年』 主題一覧表 ……………	18

教科書と併せて信教版の資料を有効に活用していただけるように

2019年度より、中学校道徳の授業は、「特別の教科 道徳」として実施されることとなりました（小学校では平成30年度より実施）。

すでに使用する教科書が決定し、教育課程研究協議会等においては教科化に伴う新学習指導要領の解説や、授業における指導法等の研究協議が行われています。道徳科では、主たる教材として教科書を使用しなければならないことはいうまでもないことですが、道徳教育の特性に鑑みれば、信教版道徳資料集『わたしの築くみちしるべ』に数多く掲載されているような、長野県内各地域に根ざした郷土資料などと併せて活用することが重要となります。このことは、学習指導要領の道徳科の教材に求められる内容の観点にも書かれています。

そこで、信濃教育会道徳教育研究調査委員会では、『わたしの築くみちしるべ』に掲載されている資料を積極的に活用していただきたいという熱い思いを込めて、資料集の中から長野県ならではの価値ある資料を中心に吟味・選択し、この「道徳教科書との併用資料」を作成しました。ここで選択した資料は教科書の内容項目に併せて学年ごとに配置し、年間指導計画のなかに記載されています。この一覧表をもとに、教科書の教材に加えて信教版の資料を活用したり、教科書の教材を信教版の資料と差し替えて活用したりしていただきたいと思います。また、ぜひ使っていただきたいお薦めの資料の内容を端的に表現した「アピールセンテンス」や「指導事例」、「資料集に取り上げられている郷土の人や郷土の人物をまとめた長野県地図」を添えてありますので参考にしてください。

本委員会が推薦する資料には、郷土に縁のある人物として原田泰治、熊井啓、清水亀五郎、中村不折、中山晋平、赤沼健至、相馬愛蔵等、文化面では大鹿歌舞伎等、生活面では県内中学校の校舎改築に関わる内容のもの等、自然面では霧ヶ峰等、その他スポーツ選手や県内中学校の実践、絵本をもとにした資料などもあげてありますので、内容項目と照らし合わせて授業で活用していただきたいと切に願っております。これらをまとめたこの「道徳教科書との併用資料」は、年間指導計画作成時には、学校現場で即刻、大いに役立つものと確信しております。

『わたしの築くみちしるべ』を、教科書と併せて有効に活用していただくことで、生徒が自己の生き方について考えを深めていく学習につながる質の高い授業となることを願い、この冊子をお届けします。

信濃教育会道徳教育研究調査委員会

『きみが いちばん ひかるとき』(光村図書)との併用計画例

月	1年	内容項目	差し替えや追加が可能な信教版資料	2年	内容項目	差し替えや追加が可能な信教版資料	3年	内容項目	差し替えや追加が可能な信教版資料
4	1 自分で決める??	自主, 自律, 自由と責任		1 テニス部の危機	よりよい学校生活, 集団生活の充実		1 メダルの向こう側に	希望と勇気, 克己と強い意志	証城寺の狸囃子 四一三球の戦い
	2 自然教室での出来事	節度, 節制		2 夢中になるのは悪いこと?	節度, 節制		2 小さな出来事	公正, 公平, 社会正義	
	3 さよならの学校	家族愛, 家庭生活の充実	おとなになるってどんなこと?	3 三百六十五×十四回分の「ありがとう」	家族愛, 家庭生活の充実		3 背番号 10	思いやり, 感謝	
5	4 ひまわり	生命の尊さ		4 命が生まれるそのときに	生命の尊さ	風光る窓辺に	4 あの日 生まれた命	生命の尊さ	
	5 ヘレンと共にーアニー・サリバン	希望と勇気, 克己と強い意志	七十一歳の高校生	5 友達にライバル	友情, 信頼	どうしたらいいの……	5 「知らないよ。」	自主, 自律, 自由と責任	
	6 いちばん高い値段の絵	友情, 信頼	片腕のラグーマン	6 雪に耐えて梅花麗しー黒田博樹	希望と勇気, 克己と強い意志	若き日の中村不折 森と湖の国へ プールを歩いて渡った少女	6 二通の手紙	遵法精神, 公德心	
6	7 私の話を聞いてね	相互理解, 寛容	虚構の気づき	7 カラカラカラ	自主, 自律, 自由と責任		7 がんばれ おまえ	向上心, 個性の伸長	ええところ
	8 席を譲ったけれど	思いやり, 感謝		8 違うんだよ, 健司	友情, 信頼	どうしたらいいの……	8 足袋の季節	よりよく生きる喜び	
	9 一粒の種	よりよい学校生活, 集団生活の充実	校舎建築にあたって	9 民主主義と多数決の近くて遠い関係	遵法精神, 公德心	不愉快な一日	9 アイツとオレ	相互理解, 寛容	
	10 魚の涙	公正, 公平, 社会正義					10 ぼくの物語 あなただけの物語	公正, 公平, 社会正義	
7	11 捨てられた悲しみ	生命の尊さ		10 松葉づえ	思いやり, 感謝	先生にビールやっておくれ	11 電話番	社会参画, 公共の精神	
	12 六十二枚の天気図	真理の探究, 創造		11 つながる命	生命の尊さ	風光る窓辺に	12 根本を究めてー「お茶博士」辻村みちよ	真理の探究, 創造	
9	13 学習机	礼儀		12 段ボールベッドへの思い	勤労	甘さのない職場	13 私がピンク色のキャップをかぶるわけ	友情, 信頼	
	14 言葉の向こうに	相互理解, 寛容	虚構の気づき	13 スカイツリーにかけた夢	真理の探究, 創造	彫刻家をめざして	14 三年目の「ごめんね」	自主, 自律, 自由と責任	
	15 父の言葉	思いやり, 感謝		14 夢を求めてパラリンピック	希望と勇気, 克己と強い意志	若き日の中村不折 森と湖の国へ プールを歩いて渡った少女	15 礼儀正しさとは	礼儀	
	16 エルマおばあさんからの「最後の贈りもの」	生命の尊さ		15 秀さんの心	礼儀		16 一票を投じることの意味	社会参画, 公共の精神	地震パン
10	17 やつぱり樹里は	公正, 公平, 社会正義		16 ジコチュウ	相互理解, 寛容		17 間の中の炎	遵法精神, 公德心	
	18 僕たちの未来	社会参画, 公共の精神		17 ちがいの意味を見直す	社会参画, 公共の精神	地域に生きる人々	18 聖地甲子園の土守	勤労	
	19 私が働く理由	勤労	小谷氏の心	18 私の町	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	りんごの並木 ふるさとを守る人々	19 障子あかり	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度	
	20 仏の銀蔵	遵法精神, 公德心	一通の手紙	19 僕の職場は富士山です	自然愛護	梅の香り	20 サグラダ・ファミリアー受け継がれていく思い	感動, 畏敬の念	自然から学ぶこと
11	21 なおしもん	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	わたしを育てたふるさと	20 宇宙の始まりに思いを寄せて	感動, 畏敬の念	心の底から	21 先人の言葉ー「論語」	向上心, 個性の伸長	木箱の中のえんぴつたち
	22 鳥が見せてくれたもの	自然愛護	自然に抱かれてこそ	21 さよなら, ホストファミリー	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度		22 私が目指した白ー陶芸家・前田昭博	真理の探究, 創造	
	23 日本のお米	我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度		22 明日, みんなで着よう	公正, 公平, 社会正義		23 命の選択	生命の尊さ	
	24 異文化の人々と共に生きる	国際理解, 国際貢献	東南アジアの人たちが待っている	23 アンネのバラ	国際理解, 国際貢献		24 村長の決断	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度 / 自然愛護	大鹿歌舞伎・霧の子孫たち
12	25 命の木	感動, 畏敬の念		24 「許せないよね」	自主, 自律, 自由と責任		25 希望の義足	国際理解, 国際貢献	ブータンの王国の農業の父
	26 銀色のシャープペンシル	よりよく生きる喜び	風切る翼	25 あと一歩だけ, 前に	よりよく生きる喜び		26 恩讐の彼方に	相互理解, 寛容	
	27 栄光の架橋	希望と勇気, 克己と強い意志	七十一歳の高校生	26 優しさの光線	向上心, 個性の伸長	表彰台へ, 皆が支えてくれた			
1	28 裏庭での出来事	自主, 自律, 自由と責任		27 「桃太郎」の鬼退治	相互理解, 寛容		27 『落葉』ー荻田春草	希望と勇気, 克己と強い意志	1年資料集 P109「ふるさとを結ぶ『落葉』」
	29 「養生訓」より	節度, 節制		28 箱根駅伝に挑む	節度, 節制		28 小さいこと	節度, 節制	
	30 撮れなかった一枚の写真	よりよく生きる喜び	風切る翼	29 人って, 本当は?	よりよく生きる喜び		29 巣立ちの歌が聞こえる	よりよい学校生活, 集団生活の充実	明かりの下の燭台
2	31 親友	友情, 信頼	片腕のラグーマン	30 嫌われるのを恐れる気持ち	向上心, 個性の伸長	表彰台へ, 皆が支えてくれた	30 一冊のノート	家族愛, 家庭生活の充実	神様からのおくりもの うまれてきてくれてありがとう
	32 雨の日の昇降口	遵法精神, 公德心	一通の手紙	31 気づかなかったこと	思いやり, 感謝	先生にビールやっておくれ	31 命と向き合う	生命の尊さ	
	33 初めての伴奏	よりよい学校生活, 集団生活の充実	校舎建築にあたって	32 クロスプレー	公正, 公平, 社会正義		32 風の後に	友情, 信頼	
3	34 カメは自分を知っていた	向上心, 個性の伸長		33 紙芝居	社会参画, 公共の精神	地域に生きる人々	33 出会いの輝き	思いやり, 感謝	
				34 泣きすぎてはいけない	生命の尊さ	風光る窓辺に	34 手紙	よりよく生きる喜び	
補充	35 旗	思いやり, 感謝		35 無人スタンド	遵法精神, 公德心		35 二人の弟子	よりよく生きる喜び	
	36 橋の上のおおかみ	思いやり, 感謝		36 泣いた赤おに	友情, 信頼		36 手品師	自主, 自律	

『輝け未来』（学校図書）との併用計画例

月	1年	内容項目	差し替えや追加が可能な信教版資料	2年	内容項目	差し替えや追加が可能な信教版資料	3年	内容項目	差し替えや追加が可能な信教版資料
4	1 誰も知らない	公正、公平、社会正義 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		1 裏庭のできごと	自主、自律、自由と責任		1 言葉の向こうに	自主、自律、自由と責任	
	2 言葉の壁は「日本舞踊」で乗り越えた			2 二通の手紙	違法精神、公德心	不愉快な一日	2 誰が本当の作者？	違法精神、公德心	
	3 博史のブログ	自主、自律、自由と責任		3 私の存在	よりよい学校生活、集団生活の充実		3 女子高生たちの親切	思いやり、感謝	
5	4 あなたの「生きようとする力」	生命の尊さ		4 ゴリラのまねをした彼女を好きになった	友情、信頼	どうしたらいいの……	4 命に響く「雅楽」東儀秀樹	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	
	5 旗	友情、信頼	片腕のラガーマン	5 負けを生かす技術	向上心、個性の伸長	表彰台へ、皆が支えてくれた	5 富士山の、消えた「白い川」	社会参画、公共の精神	地震ハン
	6 君が生まれた日	家族愛、家庭生活の充実	おとなになるってどんなこと？	6 国	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		6 五月の風	友情、信頼	
6	7 キャッチボール	違法精神、公德心	一通の手紙	7 傍観者でいいのか	公正、公平、社会正義		7 豊かなれ阿賀の流れよ—新潟水俣病の苦悩をこえて—	公正、公平、社会正義	
	8 偽りのバイオリン	よりよく生きる喜び	風切る翼	8 最後まで踊り続けたい	よりよく生きる喜び 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度		8 二人の弟子	よりよく生きる喜び 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	
	9 クリームパン	勤労	小谷氏の心	9 脈々と受け継がれる鉢帯橋	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	りんごの並木 ふるさとを守る人々	9 桑の都	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	大曲歌舞伎
	10 うちわと涙	思いやり、感謝		10 命ということ	生命の尊さ	風光る窓辺に	10 受験生あつこの日記	節度、節制	
7	11 自分らしさとは	向上心、個性の伸長		11 一枚の葉書	礼儀		11 森に起きていること	自然愛護	霧の子孫たち
	12 「私は、『おもてなし親善大使』	国際理解、国際貢献	東南アジアの人たちが待っている	12 僕にとっての東京オリンピック	国際理解、国際貢献		12 真の国際人 嘉納治五郎	国際理解、国際貢献	ブータンの王国の農業の父
9	13 願いのバトン	希望と勇気、克己と強い意志	七十一歳の高校生	13 ネット将棋	自主、自律、自由と責任		13 稲むらの火と堤防 浜口梧陵伝	節度、節制	
	14 いつも一緒に	友情、信頼	片腕のラガーマン	14 台風島に生きる	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	りんごの並木 ふるさとを守る人々	14 うるわしき伝統	礼儀	
	15 一房のぶどう	勤労	小谷氏の心	15 茂の悩み	相互理解、寛容		15 万引き	違法精神、公德心	
	16 思いを結び、人を結ぶ水引	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		16 真実から真理を求める—ガリレオ・ガリレイ	真理の探究、創造	彫刻家をめざしてレイ	16 北照の稲作に挑む	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	大曲歌舞伎
10	17 約束	相互理解、寛容	康雄の気づき	17 父の言葉の意味を知って	勤労	甘さのない職場	17 鏡の中の私	友情、信頼	
	18 合唱コンクール	よりよい学校生活、集団生活の充実	校舎建築にあたって	18 木箱の中の鉛筆たち	希望と勇気、克己と強い意志	3年資料集 P85「木箱の中のえんぴつたち」	18 夕立の日の真実	真理の探究、創造	
	19 災害に備える	節度、節制		19 千五百メートル走	友情、信頼	どうしたらいいの……	19 和田真由美さんの手記	生命の尊さ	
	20 飛べ！ 出水のツル	自然愛護	自然に抱かれてこそ	20 ごちそう	家族愛、家庭生活の充実		20 あるレジ打ちの女性	勤労	
11	21 飛騨の匠の造った家	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	わたしを育てたふるさと	21 市内マラソン大会出場	節度、節制		21 ドラッグは二つの顔をもつ	自主、自律、自由と責任	
	22 最後の葉	感動、畏敬の念		22 加山さんの願い	社会参画、公共の精神	地域に生きる人々	22 明かりの下の燭台—鈴木恵美子	よりよい学校生活、集団生活の充実	3年資料集 P120「明かりの下の燭台」
	23 淳の住む町	違法精神、公德心	一通の手紙	23 夜の果物屋	思いやり、感謝	先生にビールやっておくれ	23 まるごと好きです	相互理解、寛容	
	24 ご挨拶の勧め	礼儀		24 ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	違法精神、公德心	不愉快な一日	24 僕たちがしたこと	公正、公平、社会正義	
12	25 自然教室のできごと	節度、節制		25 「これ以上、がんばれない」って平気な顔で言うな。	よりよく生きる喜び		25 真珠の養殖を成し遂げた 御木本幸吉	希望と勇気、克己と強い意志	証城寺の狸囃子 四一三球の戦い
	26 アルミ缶回収	社会参画、公共の精神		26 日本人として	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度		26 ごみ収集車	社会参画、公共の精神	地震ハン
	27 天から送られた手紙	真理の探究、創造	ふるさとを結ぶ『落葉』—荻田春華—	27 沈黙の海	自然愛護	梅の香り	27 足袋の手節	よりよく生きる喜び	
1	28 ある元旦のこと	思いやり、感謝		28 自分らしい多様な生き方を共に実現させるためにできること	公正、公平、社会正義		28 相撲 体と心を鍛える国技	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	
	29 小さな一歩	社会参画、公共の精神		29 ナイスジャンプ	思いやり、感謝	先生にビールやっておくれ	29 五万回斬られた男 榎本清三	向上心、個性の伸長	ええところ
	30 大人たちの都合で無数の子どもの命が	国際理解、国際貢献	東南アジアの人たちが待っている	30 ふきのとう	勤労	甘さのない職場	30 幻のノーベル賞 ガンの研究に生涯をかけた山極勝三郎	勤労	
2	31 銀色のシャープペンシル	よりよく生きる喜び	風切る翼	31 希望のピザ	国際理解、国際貢献		31 心のおくりびと	生命の尊さ	
	32 生き続ける遺産 深良用水	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	わたしを育てたふるさと	32 大きな木	生命の尊さ	風光る窓辺に	32 平和への架け橋	国際理解、国際貢献	ブータンの王国の農業の父
	33 父の一言	自主、自律、自由と責任		33 大使になった父親	社会参画、公共の精神	地域に生きる人々	33 黄色いお弁当箱	思いやり、感謝	
3	34 母の死が教えてくれたこと	生命の尊さ		34 命を救う防災	節度、節制		34 一冊のノート	家族愛、家庭生活の充実	神様からのおくりもの うまれてきてくれてありがとう
	35 卒業文集最後の二行	公正、公平、社会正義		35 自分自身の絵を追いかけて—画家・田中一村の生涯—	感動、畏敬の念	心の底から	35 瑠璃色の星	感動、畏敬の念	自然から学ぶこと

信教版道徳資料集『わたしの築くみちしるべ』から選択した資料①

学年	タイトル	内容項目	アピールセンテンス	内容	扱う時期など
1	わたしを育てたふるさと	郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度	原田泰治の郷土に対する思いが伝わる資料。	諏訪出身の画家原田泰治の思いが文章に描かれている。幼少期を過ごした伊賀良の地で自然とともに育ち、温かな人々に囲まれた生活の中での体験を通して、特に病気がよい方向に向かったことが示されている。目に見える自然の美しさ、友だちとのかかわりの深まりなど郷土伊賀良であるからこそ得られるものがあったことが理解できる。	地域学習や地域の人々との交流のあと
	自然に抱かれてこそ	自然愛護	美しい自然を守る人の気持ちがわかる。	安曇野市名誉市民映画監督熊井啓の著作。小六の時に登った燕岳から赤く大きな朝日を見て、胸の高まりを感じ、人間にとって自然とはかけがえのないものであると感じるにいたった。反面、現在では、自然に対して開発が進み、失われていく中で危機を感じている。自然を大切に守っていかうとする心情を育むのに適切な資料である。	
	七十一歳の高校生	希望と勇気, 克己と強い意志	学ぶことの価値が見つけられる資料。	長野市松代町の清水亀五郎さんが長年の夢をかなえるため、七十一歳で通信制高校へ入学する。学ぶことの真の目的、生涯にわたって学ぶことの大切さに気づける資料。	
	校舎建築にあたって	よりよい学校生活, 集団生活の充実	よりよい校風を作ろうとする意欲がもてる。	東御市立東部中学校の新校舎建築に携わる人々の思いが感じ取れる資料。学校を大切にしようという心情を育むことができる。	
	一通の手紙	遵法精神, 公德心	できそうなことを進んで果たそうとする。	落とし物を届けたことで、礼状が届く。そのことがきっかけで、自分がした行為がよかったことがわかり、自分の姿を見つめなおすきっかけとなる。日常手紙を書く経験がない生徒にとって手紙のぬくもりやよさが伝わる。	
	小谷杜氏の心	勤労	将来の生き方について考えを深める。	なぜこの仕事をしているのか、続けていこうとしているのかわかる資料。働くことに対して、つらさや喜びを感じ取ることができる。	
	東南アジアの人たちが待っている	国際理解, 国際貢献	県内の先人の行った国際貢献に誇りを感じる。	上田市にある安楽寺住職の話。近くにある募金箱や奉仕活動などが国際貢献につながることを理解できる。コラム4「ランドセルは海をこえて」を使った導入がおすすめ。	
	風切る翼	よりよく生きる喜び	絵本になっているので読み聞かせも有効。	2羽のツル「カララ」と「クルル」。物語は「クルル」の心情で構成されているが、「カララ」の葛藤の末「クルル」のもとへ戻ってきた心情を考えることで、心の弱さを克服しようとする心情に意識を向けられる。	
	片腕のラガーマン	友情, 信頼	真の友情とは。多くの実践例のある資料。	真の友情について、生徒が一生懸命考えあうことのできる資料。県内で数多くの実践例がある代表的な資料。	
	ふるさとを結ぶ『落葉』 —菱田春草—	真理の探究, 創造	飯田市出身の日本画家菱田春草の信念。	周りの評価を気にせず、自分がよいと思った絵を描き続けた春草を動かしたものが何かを考えることでねらいにせまることができる。	

学年	タイトル	内容項目	アピールセンテンス	内容	扱う時期など
1	康雄の気づき	相互理解、寛容	1年生の指導では定番となっている自作資料。	お互いのよさを認め合うことの大切さが素直に感じられる。小諸市立芦原中学校教師による自作資料。	
	おとなになるってどんなこと	家族愛、家庭生活の充実	家族のありがたさに気づきにくい中学生に。	「当たり前だと思っていた周囲の人の行動が、当たり前ものではないことに気づき、自分から行動することが大人になることである。」という筆者の考えに触れ、家族のありがたさについて考え合える資料。	
2	梅の香り	自然愛護	校内に植えられた樹木に関心が高まる資料。	小諸市立芦原中学校。日頃あたりまえのように目にしている植物には、先輩たちの思いや育てた苦勞が受け継がれていることを知る。校内など、身近な植物を大切にしていこうという思いが深められる。	5～6月 植樹活動前
	不愉快な一日	遵法精神、公德心	県内中学2年生の作文資料。	自分の立場や権利を尊重しながらお互いが気持ちのよい社会生活を送るために、法や決まりを進んで守ろうとする判断ができるようになる。それぞれの立場になって考える資料。	
	彫刻家をめざして	真理の探究、創造	やり通すよさや仕事への思いが伝わる資料。	飯田市在住の岡村都さんの仕事への迷いと探究。伝統工芸を学ぼうと、修行に入り、途中でやめたくなった気持ちを乗り越えて、修行を続けていこうと決めた都さんの気持ちから、自分の迷いを謙虚に受け止め、地道に探究し続けるよさに気づく。都さんの迷いと自分の迷いを重ねる資料。	職場体験学習前
	若き日の中村不折	希望と勇氣、克己と強い意志	伊那の偉人から努力の大切さを知る資料。	伊那市出身、洋画家・書家である中村不折の生き方や名前にこめられた思いと願いを知る。高い理想や目標をもってその実現に努力する生き方を知る。	
	りんごの並木	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	中学生の行動力が大人の良心を動かした実話。	飯田東中学校の生徒たちのりんご並木づくりへの思いと受け継がれている伝統。中学生の心が飯田市の大人たちの良心をも育むことになった生徒会活動の実話。失敗を繰り返しながらも理想や夢の実現に向けて進もうとした中学生の姿や行動力が感動的な資料。	2時間扱いも可能
	地域に生きる人々	社会参画、公共の精神	Bさんの気持ちが地域の人々を変えた。	生徒会や地区生徒会活動など奉仕活動の時の気持ちを思い起こしながら、考えることができる。地域のために行動し、ごみ収集場所を提供したことで、地域の人々も変えていくことにつながった。自分が変わることで、周りの人々も変わることを実感できる資料。	奉仕活動 生徒会活動の引継ぎのとき
	表彰台へ、皆が支えてくれた	向上心、個性の伸長	長野五輪金メダリストの生き方を考える資料。	長野五輪金メダリストの清水宏保さんの談話。「競技の頂点は人としての頂点ではない」と思い、「我以外皆我が師」と人間としての向上を願う清水選手の生き方にふれることができる。	部活動大会前
ふるさとを守る人々	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	無償の奉仕によって守られている郷土。	旧木曾福島町消防団第1分団発行「馬籠の詩」に収められている手記を教材化。自治的な消防団という無償の奉仕によって郷土が守られていることを実感できる資料。	生徒会引継ぎの時期	

信教版道徳資料集『わたしの築くみちしるべ』から選択した資料②

学年	タイトル	内容項目	アピールセンテンス	内容	扱う時期など
2	風光る窓辺に	生命の尊さ	母親の愛の深さと命の大切さを実感できる資料。	ある母親が子どもに語った話を上伊那郡宮田中学校の教師が教材化。自分を犠牲にしても、生まれてくるわが子を助けたいと願う母親の気持ち。生徒一人ひとりの誕生にまつわる話を家族と話したり、調べたりすることで、自分の命の大切さを再認識できる。	性教育との関連 人権月間
	森と湖の国へ	希望と勇気、克己と強い意志	木曾町から世界で活躍するピアニストへ。	福島中学校(現木曾町中学校)の卒業生である伊東郁子さんを取材し、自作した資料。自らの生き方、将来の職業について考える進路学習と関連付けられる。	進路学習と関連 職場体験学習
	先生にビールやっておくれ	思いやり、感謝	さりげない優しさや温かさを感じる資料。	自分のこと以外に他者に気遣いできるよさや温かさを感じ取ることができる資料。鎌田實さんの「がんばらない」からのお話。さりげない優しさを自分の身の回りのできごとと関連付けて考えることができ、人との接し方を考えるのに適している。	
	プールを歩いて渡った少女	希望と勇気、克己と強い意志	本当の強さとは何か、考えを深める実話。	本当の強さとは何かについて自分の考えを持つことができる資料。人はだれもつらいことから逃げ出したくなる気持ちを持っているが、A子さんの心を変えた母親の願いやボスに無関心だった校長先生の行動、そして何より自分の力で最後まで歩き切ったA子さんの描写などから、困難に向かう強さについて考えることができる。	
	甘さのない職場	勤労	職場体験の作文から働くことの意義を考える。	職場体験した生徒の作文。職場体験を通して学んだことや考えたことを読み取ることができる。黙々と働く職場の雰囲気や客の立場になって作業する姿から働くことの厳しさや意義について考えることができる。	
	どうしたらいいの……	友情、信頼	友だち関係をめぐる葛藤に自分の姿を重ねる。	仲のよい友だちの軽はずみな行動を注意しようと思いつつ、人間関係が崩れてしまうことを恐れて何もできないわたし。日常生活にありがちな悩みや葛藤をもとに、友情とは何かを自分と重ねながら考えることができる。	
	心の底から	感動、畏敬の念	修学旅行を控えた生徒たちと考える。	広隆寺の弥勒菩薩から言葉にならない不思議な力を感じた作者は、声にならないため息を發した。修学旅行の事前学習が心情面へと広がるきっかけになる。	京都修学旅行の事前学習
3	霧の子孫たち	自然愛護	身近な自然が守られ、存在することの意味を知る。	人間の排泄物を拾って植物を守るという牛島さんの行動が生徒の想像を超え、長野県の霧ヶ峰という身近にある自然の貴重さと、守らなければならないという危機感を感得できる。	登山、自然体験学習の前
	証城寺の狸囃子	希望と勇気、克己と強い意志	中山晋平の曲を用いて楽しい導入が可能。	長野県中野市に生まれ、「シャボン玉」「肩たたき」「黄金虫」などを作曲した中山晋平さんの話で、身近に感じられる。苦勞を乗り越え、自分の夢の実現のために努力をおしまない生き方に共感できる資料である。	

学年	タイトル	内容項目	アピールセンテンス	内容	扱う時期など
3	大鹿歌舞伎	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土のよさを知り、郷土の出身である誇りを育てる。	大鹿中学校歌舞伎クラブの生徒たちが、地域の伝統文化を受け継いでいくことで、村への愛着、存在意義や誇りを育てている。各地域の伝統文化や各学校の受け継いでいる事柄とリンクさせ、誇りを持たせることができる。	
	地震パン	社会参画、公共の精神	人のために尽力することの良さに気づく資料。	安曇野市出身の相馬愛蔵さんの資料で身近に感じられる。地震などの災害はいつでも起こりうることであり、周囲が困っているときに、自分ができることを懸命に行うことのすばらしさに気づくことができる。	
	自然から学ぶこと	感動、畏敬の念	自然との関わりについて考えを深められる資料。	北アルプス燕岳燕山荘の経営者赤沼健至さんの話で、身近にある自然の美しさや良さに改めて目を向け、自然とのかかわりについて考えを深められる資料である。	
	神様からのおくりもの	家族愛、家庭生活の充実	人生に絶望はない。生き方のヒントを与える。	何事も心のありよう、幸にも苦にもなるということ。母親が子どもに対する無償の愛は、子どもの成長とともに育つものであること。自分の親も同じではないかと客観的に親について考えることができる。自分が親になるときも苦しいことがたくさんあるけれど一緒に成長していこうと思える。	卒業が意識され始めたころ。
	ええところ	向上心、個性の伸長	人の良いところを見つけたい資料。	資料がすべてひらがなで書かれていて、読みやすい。また、挿絵や配色が温かい印象を与える。自己肯定感を高めるとともに、他者の良いところを目を向けようとする気持ちや態度を育てられる資料。	
	四一三球の戦い	希望と勇気、克己と強い意志	夢を持って努力し続ける大切さが伝わる資料。	東京オリンピックを目指している選手や過去のオリンピックの様子を導入に使うこともできる。どの生徒も学習や部活動で直面するであろう試練や困難を乗り越えようとする気持ちを育てることができる。	
	うまれてきてくれてありがとう	家族愛、家庭生活の充実	自己肯定感をはぐくみ、親のありがたさを感じる。	読みやすい。絵がやさしい。母親の出産時の気持を知ることで、自分の親とリンクさせ、自分の存在価値を認められる。性教育としても使用できる。	
	ブータンの王国の農業の父	国際理解、国際貢献	他国のために働くことの誇りを感じられる。	ブータンへ農業の技術指導者としてやってきた西岡京治さんの話である。海外で活躍する日本人について話し合い、自分の生き方につなげて考えることができる。技術だけではなく、心を伝えることが大切ということも考えることができる資料である。	
	木箱の中のえんぴつたち	向上心、個性の伸長	自分の可能性を信じ、努力する希望が持てる。	自分の生き方を意識し始めた生徒にとって、主人公の気持ちに共感し、生徒自身の気持ちに重ねあわせやすく、希望を持つことができる資料である。	
明かりの下の燭台	より良い学校生活、集団生活の充実	自分の役目を果たそうという気持ちになる。	東京オリンピック、金メダルに輝いた女子バレーボールチームのマネージャー、鈴木恵美子さんの話である。自分の所属する部活動と関連させて考えることができる。燭台の実物や写真を見せて、これはなんだろうという導入が可能。現在のプロ野球やサッカーのチームの資料等を用いて生徒の興味関心を高められる。		

主題名 29 片腕のラグーマン

指導内容 B〔友情, 信頼〕 友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち, 互いに励まし合い, 高め合うとともに, 異性についての理解を深め, 悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。

1 ねらい

デニスに対する仲間の行動について考え合うことで, それぞれの行為のよさを出し合い, 互いに相手を認めた厳しくも温かい真の友情の素晴らしさを理解することができる。

2 主題設定の理由

⇒ **ねらう道徳的価値に即した子どもの実態**

宿題を簡単に見せたり教えたりするなど, 何でもかんでも手を貸すことだけが親切・友情であると考えている生徒。

⇒ **教師のねがい**

今まで考えていた親切・友情を基盤にして, 相手の立場を認めた真の友情やその意味を理解できる生徒になってほしい。

⇒ **資料の価値 (ねがいを達成するための資料の可能性)**

真の友情とはどういうものであるか具体的に書かれている。一流のラグビー選手の話であるが, 書かれている行為は身近で, 「わたしは, はっとしてしまった。」という, 価値について考える糸口がある。真の友情と深い思いやりのある行為の素晴らしさを感動的に理解するのに適した資料である。

⇒ **教材化 (一時間をどう構想するか)**

読めば, 生徒の目は二つの行為に向くため, 感想を問うところから導入する。「自分だったらどうするか」という視点を大切に, 自分たちの友情のあり方について見返したい。さらに, 筆者が「はっ」とした中身をじっくり考えられるように問いかけることにより, ねらいに迫りたい。

3 板書例

<p>学習した感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 真の友情を大切にしたい ・ こういう仲間を作りたい 	<p>わたしは, どんなことに「はっとしてしまった」のだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝うたらう ・ 思いつかない 	<p>もし自分だったら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ やらせていてすごい ・ デニスもうれしかった 	<p>片腕のラグーマン</p> <p>デニスに対してマイクたちのとった行動について。</p> <p>【こう衣室での行動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手伝ってあげればいい ・ 優しい <p>【食堂での行動】</p>
--	---	---	--

4 本時のワンポイント

○デニスに対するマイクたちの行為を考えると, 「もし自分がマイクだったらどのように行動するか。」を問い, 個々の生徒が自分の考えを述べられるように問いかけをする。また, その際に判断の根拠も述べられるように問いかけをすることが大切である。

○筆者が選手たちの夕食風景を見て, 深い友情と思いやりを感じ, 「はっ」とするところが, この資料の山場なので, 時間を与えてじっくりと考えられるように問いかけをする。

5 展開例

授業の構想

心をゆさぶる

※資料を読む。

資料を読んで感想を発表しよう。

○更衣室での行動
・ひもを解くのを手伝ってあげないので、ひどい人たちだと思ったが……
・きちんとやらせていてすごい

○食卓での行動
・みんな待っていてあげて優しいと思った
・手でつまみ上げてかじるなんて、デニス はうれしかったと思う

価値観の交流と追求

もし自分だったらどのように行動するだろうか。

※デニスに対するマイクたちの行為について、自分だったらどのように行動するかを考える。その際に判断の根拠を述べるよう声がけをする。

自分だったら、ひもを解くのを手伝うと思う。
手伝うことが、友情だと考える。

手でかじりつくなんて思いつかない。
ただ待っていただけだと思う。

※「デニスの気持ち」にもふれさせ、デニスと仲間の両方の立場から考えを聞きたい。

デニスは、手伝ってもらった方が、うれしかったのだろうか。

一人だけ、かじりついていたとしたら、デニスは、恥ずかしかったと思う。

わたしは、どんなことに「はっとしてしまった。」のだろうか。(中心発問)

手伝ってやればよかったけれど、デニスだけを特別扱いないチームやキャプテンの素晴らしいさに気づいた。

手を貸すことだけが友情ではなくて、相手のことを考えて、あえて手を貸さない真の友情に気がついた。

※真の友情と深い思いやりのある行為の素晴らしさを、じっくりと考えを聞きたい。

心への問いかけを深める

今日、学習した感想を発表してみよう。

今まではすぐに手伝った。こんな親切もあったんだ。

いいと思ったら、すぐにやってきた。しかし、それが友情とは限らない。

こういう仲間を作りたい。真の友情を大切にしたい。

主題名 17 りんごの並木

指導内容 C (郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度) 郷土の伝統と文化を大切にし, 社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め, 地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し, 進んで郷土の発展に努めること。

1 ねらい

「飯田の特産物の『りんご』で, 赤い実のなる街路樹を, りんご並木をつくりたい」という郷土を愛する生徒たちの高い理想とその理想の実現に向かって, 多くの苦難を乗り越えていく生徒たちの姿を通して, 高い理想をもち, 粘り強く努力することの大切さを理解することができる。

2 主題設定の理由

⇒ ねらう道徳的価値に即した子どもの実態

体験学習や総合的な学習の時間などを通して奉仕活動やボランティア活動をしたことのある生徒。だが, このような活動はなかなか自発的な活動としては定着せず, イベント的な活動になりやすく, 粘り強く努力することが難しい。また, 「自分たちの郷土を, より住みやすくしたい」というような高い理想をもち, なかなか広い視野で考えることができにくい生徒たち。

⇒ 教師のねがい

理想と現実には大きなギャップがつきものであるが, 自分たちが抱いた気高い理想の実現に向かって様々な苦難を乗り越え, 失敗を繰り返しながらも夢の実現に向かって突き進むたくましさをもってほしい。

⇒ 資料の価値 (ねがいを達成するための資料の可能性)

いくたびの不幸の大火から, 必死に復興を図った飯田市民のたゆまぬ努力の中にあつて, 若者らしい正義感と郷土を愛する行動力をもって, 町のりんご並木づくりに立ち上がり, 飯田市民の良心をも育むこととなった生徒会活動の実話である。若い中学生集団の, 苦難を乗り越えて夢を実現させてきたたくましい行動力に感動する資料である。

⇒ 教材化 (一時間をどう構想するか)

長い資料なので, 二時間扱いとする。
第一時では, 自分たちの住む市町村に対する自分たちのかかわりについて考え, 資料に入り, 飯田東中学校の生徒の地域へのかかわり方について感想を書き, 発表し合う。
第二時は, 飯田東中学校の生徒たちが抱いていた理想について話し合うことから入り, 高い理想の実現にともなう苦労や, それに対する生徒たちの取り組みについて考えることを通してねらいに迫り, 自分の住む町に寄せる夢についても考える。

3 板書例

りんごの並木 【第二時の板書例】	
資料を読んで心に残ったこと	
<ul style="list-style-type: none"> りんご並木づくりの構想は, 生徒から生まれたこと 市に一度断られた企画だったけど, 生徒会はあきらめずに再び挑戦してつくりあげたこと りんご並木のねらいは町をきれいにするばかりでなく, 町の人々の心をも美しくしたいということがあった 多くの苦難があったが, 乗り越えた粘り強さがすごい 	
飯田東中の生徒の理想	高い理想の実現にむけた苦労
<ul style="list-style-type: none"> 緑豊かな町並み りんごを盗む人がいない町 社会的精神が行き渡った町 	<ul style="list-style-type: none"> 助役さんの反対 栽培技術の難しさ 費用の問題 移植後の手入れ 盗まれるりんご
飯田東中学校の生徒の取り組み	
<ul style="list-style-type: none"> 生徒会での話し合い・再度の市へのお願い・先生も一緒に 緑化部員の活躍・伝統作り・生徒会での理想の確認 	
自分の住む町をどのようにしたいと思っているか。	

4 本時のワンポイント

- 第一時では, 資料をじっくりと読み, 感想文を書く時間を十分に確保する。
- 第二時では, 導入部で書いた生徒の感想文の発表を多く取り入れ, 飯田東中学校の生徒たちが, りんご並木づくりに大きな価値と意義を感じたことや, そう感じたことから, さらに真剣に取り組んでいったことに気づけるようにする。

5 展開例

授業の構想

心をゆさぶる

今までに自分たちの住む市（町村）に住む人のために、何か奉仕活動をした経験はあるだろうか。

※地域に対して奉仕活動をした経験について発表する。

毎月、空き缶やゴミ、吸い殻を拾う「通学路清掃」を続けてやっている。	学校の前の空き地に花を植えて、そこを通る人たちに楽しんでもらっている。	市の老人福祉施設にいて、ボランティア活動をしたことがある。
-----------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------

（奉仕活動をしたとき）その活動をする前とあとの気持ちはどうだっただろうか。

活動は大変だったけど、地域の人やお年寄りに喜んでもらえてとてもうれしかった。	やる前は少し面倒くさいと思ったけど、やり終えたらすごく気持ちがよかった。
--	--------------------------------------

価値観の交流と追求

資料を読んでどんなことが心に残っただろうか。

※資料を読んだ感想を書く。（学習カード準備）

飯田のりんご並木は、飯田東中学校の生徒たちの考えから生まれたものだったんだ。	並木作りの企画は一度は断られたものなのに、生徒会が中心となって再度挑戦したんだ。	生徒会の理想に向かって、多くの人たちが協力して現在のりんご並木が残っているんだ。
--	--	--

自分たちの行った奉仕活動と、飯田東中学校の生徒が行ってきたりんご並木を育てる活動とでは、どんなところが異なっているだろうか。

※飯田東中学校の粘り強い取り組みに焦点をあて、感想を書く。

「飯田の町を美しくするばかりでなく、町の人々の心をも美しくしていきたい」という飯田東中学校の生徒の高い理想に感心した。	多くの失敗や苦難を乗り越えながら、着実に前進してりんご並木を育ててきた飯田東中学校の生徒たちの粘り強さに感心した。
---	---

飯田東中学校の生徒たちが抱いた理想とは、どんな飯田市にすることだったのだろうか。
(中心発問)

※りんご並木作りが、街並みの美しさばかりではなく、人の心をも美しくしていこうとする活動であったことを話し合いの中で気づけるようにする。

飯田の町の中に、りんごの実を盗むような人がいないようにしたいと考えていた。	みんなで協力したり、助け合ったりできる町、共同精神のあふれた町にしたかったと思う。	緑豊かな町並みを作り、人々の心を豊かにしたり、やさしくしたりしたかったと思う。
---------------------------------------	---	---

心への問いかけを深める

二時間にわたって飯田東中学校のりんご並木作りの取り組みについて学習してきましたが、自分は今、自分の住む町をどのようにしたいと思っているだろうか。

※これからの自分の住む郷土作りによせる夢について、発表する。
※授業のまとめとして、自分が住む町に寄せる夢について考えたい。
※発表形式もよいが、作文形式でじっくり書いてみるのもよいだろう。

飯田市のように、きれいな町並みをもった町をつくりたい。	緑豊かな町、子どもたちが安心して遊べる公園がある町にしたいな。	美しい心をもった人が多い町、美しい心をもった人が集まる町にしたいと思う。	お互いが助け合ったり、みんなで協力したりできる町が理想だな。	共同精神や社会的精神に富む町にできたらいいな。
-----------------------------	---------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------	-------------------------

主題名 9 ええところ

指導内容 A [向上心, 個性の伸長] 自己を見つめ, 自己の向上を図るとともに, 個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。

1 ねらい

自分自身や友達のよさに気づき, 互いに認め合い, 高め合っていこうとする態度を育てる。

2 主題設定の理由

⇒ **ねらう道徳的価値に即した子どもの実態**

自分を他者と比較して, 劣等感に思い悩んだり, 他者と異なることへの不安から個性を伸ばそうとすることに消極的になったりする一方で, 自己理解が深まり, 自分なりの在り方や生き方について関心が高まり, 「自分の人生をいかに生きるべきか」といった命題にも真剣に取り組もうとする生徒たち。

⇒ **教師のねがい**

自分は世の中やまわりの人にとって, なくてはならないかけがえない存在であるという気持ちをもてるようにしたい。また, 自分の「ええところ」を見つけ出すのと同様に, 周りの人の「ええところ」を見つけ出すことで, 周りの人も自分と同じようかけがえない存在であることに気づくようにしたい。生徒一人ひとりが, もっと自分自身に自信をもち, 自己を肯定的に捉え(自己受容)るとともに, 自己の優れている面などの発見に努め(自己理解), いろいろな個性をもった友達同士, 互いに認め合って高め合っていける温かな学級集団となってほしい。

⇒ **資料の価値(ねがいを達成するための資料の可能性)**

友達とのかかわりの中で互いによさを認め合い, 高め合うことの大切さを伝えることができる。日常生活の中の自分と友達の姿を, 「あいちゃん」と「ともちゃん」の姿と重ね合わせて考えることができる。

⇒ **教材化(一時間をどう構想するか)**

自分のよさと友達のよさについて考える時間を設け考えたい。自分のよさや友達のよさを見つげられたことが成長の証であることを伝え, お互いのよさを認め合い, 高め合っていこうとする意欲をもてるようにしたい。

3 板書例

まわりの人のよさ	自分よさ	ともちゃんの挿絵	あいちゃんの挿絵	「あいちゃん」「ともちゃん」のよさってなんだらう。	自分のええところってなんだらう	ええところ
いろいろなと手伝ってくれる	いつも笑顔でやさしい	やさしいところ	みんなにやさしい	「あいちゃん」のええところを一生懸命考えてくれる	・走るのが速い ・ピアノが上手	・ない ・わからない
			・手がクラスでいちばん温かい			

4 本時のワンポイント

- 第1時限目は授業の終末で, ハートの形をした色紙にグループの友達のよさを書き, 本人にプレゼントする。
- 第2時限目は, 前時の授業を振り返った後, グループの友達以外のクラスみんなにハートの色紙に友達のよいところを書いてプレゼントする。
- クラスの全員からプレゼントされた色紙を画用紙に張って, 教室に掲示したり, 家に持ち帰って目にふれるところに置いておけるようにしたりする。

5 展開例

授業の構想

心をゆさぶる

あなたにとって、自分のよいところで大事にしたいところ、伸ばしたいと思うところはどんなところですか。

○いつも明るく元気なところ

○走るのが速い

○ピアノが上手

○友達が困っているとき声をかけてあげられる

●ない

●わからない

※よいところ、大事にしたいところ、伸ばしたいところはどんな小さなことでも構わないことを伝え、自己肯定感が損なわれないようにする。

価値観の交流と追求

※資料を読む。

「あいちゃん」と「ともちゃん」のよさってなんだろう。(中心発問)

<p style="text-align: center;">「あいちゃん」のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手がクラスでいちばんあったかい ・クラスの友だちが手を「握手して」って言ってきたとき、自分の手が冷たくなるまで、みんなの手を両手でぎゅっと温めてあげるやさしさ 	<p style="text-align: center;">「ともちゃん」のよさ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいちゃんのよいところを、一生懸命に考えてあげるやさしさ ・「あいちゃんの手ってものすごくあったかいんやで」と言って友達のよいところをクラスみんなに伝えてあげられる
---	--

あなたにとって、自分のよいところで大事にしたいところ、伸ばしたいと思うところはどんなところですか。

※自分のよいところが「ない」「わからない。」と言っていた生徒が、自分のよいところをみつけられたかどうか確認する。

- ・歌を歌うのが好きなおところ
- ・給食をいっぱい食べるおところ

友達のよいところも見つけてみましょう。

- ・Tさんは大きな声で音読ができて、とてもよいと思います
- ・Kさんは動物のことよく知っていて、動物にやさしいところがよいと思います
- ・Hさんは自分の意見をはっきり言えるところがよいと思います

心への問いかけを深める

授業で感じたこと、考えたことをワークシートに書きましょう。

※静かな雰囲気の中で十分に時間を確保し、あらためて自分のよさに気づくとともに、「友だちっていいな」という気持ちに浸ることができるようにしたい。

※ハートの形をした色紙にグループの友達のよいところを書いてプレゼントする。

<p>あらためて自分のよさを考えることができた。このよさをさらに伸ばして、前向きな生活を送っていきたい。そしたら毎日がもっと楽しくなると思った。</p>	<p>友達が僕のよいところを教えてくれたので、僕には何もなかったから、すごくうれしかった。自分だけじゃなくて、友達のよいところを見つけてあげられる人になりたい。</p>	<p>一人ひとりの個性はとても大切なものだと思います。みんなそれぞれよいところがあり、それを活かしていったら、みんながよりよい人間関係をつくって認め合えるようになると思った。</p>
--	--	---

信濃教育会編

わたしの築くみちしるべ 1年 主題一覧表

月	番号	主 題 名	時間	ね ら い	内容項目
4月	1	言葉美人	1	女生徒の言葉遣いから「わたし」が感じたことを話し合うことを通して、言葉は人の心を動かす力があることに気づき、時と場に応じた言葉遣いをしようとするすることができる。	B 礼 儀
	3	クラス旗	1	自分の都合を優先させ、学級旗作りに前向きになれなかった啓一君の、江美子さんの言動に心打たれた気持ちを考えることを通して、集団生活の向上に努めようとする気持ちをもつことができる。	C 学校生活
	21	自らの可能性を捨てない	1	松井選手の考え方や信念を理解し、理想に向かって精進する松井選手の姿に共感することを通して、目標に向かってよりよく生きようとする意欲をもつことができる。	A 希望と勇氣
5月	6	あかね雲	1	信夫君のよさに気づき、一緒に掃除をやることによって、帰りの道の情景が美しく目に映った友美さんの気持ちを考え合うことを通して、お互いに相手のよさを認め合い、友情を深めていこうとする気持ちをもつことができる。	B 友情,信頼
	18	郵便局でのできごと	1	主人公の葛藤する気持ちに共感しながら、「みんなが規則に守られて生活している」と気づいていく気持ちの変化を考えることを通して、社会生活を営むうえでいきなり大切にする意欲と態度を育てる。	C 公德心
	5	サッカーシューズ	1	ジーコの悲しみや怒りのわけを知ったばかりの気持ちを考えることを通して、物を大切に扱うことの重要性を考え、物を大切にするなど望ましい生活習慣を身につけることが自身の生活にとって大切であることに気づくことができる。	A 節度,節制
6月	10	給食当番	1	先生の一言から自問している「ぼく」の気持ちを考えることを通して、ささいなことでも自ら実践しようとする大切さに気づくことができる。	C 学校生活
	9	自然に抱かれてこそ	1	筆者が、燕岳の頂上に立ちつくしてしまったときの気持ちや、自然や村人をフィルムにおさめていったときの気持ちを考えることを通して、自然の偉大さを知り、自然保護の大切さを感じることができる。	D 自然愛護
	14	涼風	1	4人の乗客の言動に共通する善意と感謝の気持ちのつながりに注目したり、その場面を目にした主人公の大きなため息や、勤め帰りに風鈴を買って帰るといふ行為について、主人公の気持ちを考えたりすることを通して、周りの人の善意に感謝するよさに気づくことができる。	B 思いやり
7月	4	ウォークラリーの思い出	1	ウォークラリー中の主人公の気持ちの変化を考えることを通して、異性には自分たちと違う感じ方や見方があることに気づき、お互いの感じ方や見方を尊重し、協力していこうとする気持ちをもつことができる。	B 友情,信頼
	16	春美さんの涙	1	山田君の発言を聞いてからの「わたし」の気持ちの変化に心情を重ね合わせることで、相手の立場に立って物事を考え、素直に反省していくことの大切さを感じることができる。	A 向上心
8月	17	哲也	1	哲也君をかばおうとする由美さんの叫びに対して自分だったらどう答えるかを考え合うことで、友に対する自分のかかわりを見つめ直し、よりよい人間関係を築いていこうとする気持ちをもつことができる。	B 友情,信頼
9月	7	わたしを育てたふるさと	1	原田泰治と伊賀良の人々や自然とのかかわり合いを通して、人間を育む郷土の温かさに気づくことができる。	C 郷土の伝統
	28	ふるさとを結ぶ『落葉』	1	様々な困難を乗り越えて自分の信念を貫く春草の姿について考え合うことを通して、真実や真理を探究して新しいものを生み出そうとすることの素晴らしさを感じ、今後の自分に活かすことができる。	A 真理の探究

9月	19	校舎建築にあたって	1	校舎建築に携わった方々の苦労や願いを知ることで、感謝の心や校舎に対する愛着を抱き、学校の一員としてよりよい校風を作っていくという意欲をもつことができる。	C 学校生活
10月	11	真知子の迷い	1	親切にしようと思ってもできなかった真知子さんの葛藤する姿に共感することで、思いやりの気持ちを素直に表していこうとする気持ちをもつことができる。	B 思いやり
	2	奉仕活動	1	高野先輩の行為の素晴らしさやその姿を見た政夫君の心の変化を考えることで、働くことの尊さを知り、公共のために自分から進んで取り組む意欲をもつことができる。	C 公共の精神
	22	一通の手紙	1	礼状をもらい、手紙を書く「ぼく」の気持ちを考えることを通して、他人に親切にしたり、自分のできることは進んで果たしたりしようとする気持ちをもつことができる。	C 公德心
11月	31	くもの糸	1	健陀多の姿から、日常生活の中で、自己中心的な生き方をしている自分に気づき、心の弱さを乗り越えようとする気持ちをもつことができる。	D 生きる喜び
	12	七十一歳の高校生	1	清水さんの学問への考え方や取り組みについて話し合うことを通して、学習することの真の目的を知り、生涯にわたって学び続けることの大切さに気づくことができる。	A 希望と勇気
	13	おとなになるってどんなこと？	1	自分のことで精一杯で、家族を思いやることの大切さを忘れがちな生徒が、筆者が父にも心からありがたいと思えるようになった理由を考えることを通して、家族に感謝する道徳的心情を育むことができる。	C 家族愛
12月	29	片腕のラグーマン	1	デニスに対する仲間への行動について考え合うことで、それぞれの行為のよさを出し合い、互いに相手を認めた厳しくも温かい真の友情の素晴らしさを理解することができる。	B 友情,信頼
	20	さよなら ホストファミリー	1	ニュージーランドの大地を見送りながら「ありがとう」と言えた知子の気持ちを考えることを通して、日本の伝統や文化のよさがわかり、日本の伝統の継承と新しい文化の創造に貢献しようとする心情をもつことができる。	C 我が国伝統
1月	24	小谷杜氏の心	1	「わたし」の酒造りに寄せる思いとその生き方について考え合うことを通して、自分の願っている目標に向かってひたむきに取り組むことの大切さを理解することができる。	C 勤 労
	26	東南アジアの人たちが待っている	1	東南アジアの国々に本や文房具を贈り続けている順天さんや恭英さんの思いに寄せて話し合うことを通して、人類の平和と福祉に貢献することの大切さに気づくことができる。	C 国際理解
	15	しゃけの話	1	しゃけの最期のありようを読み、命の尊さに気づくとともに、懸命に生き死んでいくしゃけの姿に感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めることができる。	D 感動,畏敬
2月	27	風切る翼	1	「カララ」の心の動きを考えることを通して、人間には自分を守るために周りに流されていく弱さがあることや、それを克服していく強さも持っていることを理解し、自分に自信をもって行動しようとする気持ちをもつことができる。	D 生きる喜び
	23	どうしてあの時……	1	「ぼく」の行動や心情を考えることを通して、人間がもつ弱い心を知り、その弱さを乗り越えるにはどのように考え、どう行動すればよいのかを考えることができる。	A 自主,自律
	8	へその緒	1	明子の辛い思いに共感し、さらに父や母の励ましや明子の産まれたときのテープによって変化していく明子の気持ちを考え合うことを通して、生きていることの尊さや生命を尊重しようとする気持ちをもつことができる。	D 生命の尊さ
3月	30	康雄の気づき	1	勇二君の友への接し方と康雄君の気づきを考え合うことを通して、自分と異なる言動を受容し、お互いの心情を尊重して、友だちのよさを認め合うことの大切さを理解することができる。	B 相互理解
	25	友だちの忠告	1	祐二君や「ぼく」の行為を考え合うことで、正しいと信ずることを勇気をもって実行することの大切さを感得することができる。	C 公正,公平

信濃教育会編

わたしの築くみちしるべ 2年 主題一覧表

月	番号	主 題 名	時間	ね ら い	内容項目
4月	1	好かれる人たち	1	「あなたの性格好きだったもん」とB子さんから言われた「わたし」の気持ちを考えることを通して、自分のよさを見つめ、そのよさを伸ばそうと努力することの大切さに気づくことができる。	A 向上心
	2	生きたことば	1	おさな子のことばや中学生のことばに明るい気持ちになったわたしの心情を明らかにしたうえで、いのちのあることばの意味について考えることを通して、あいさつや地域の方や友だちとの会話の中で、見たままの真実や心いっばいの真実をことばに表そうとする意欲をもつことができる。	B 礼 儀
	3	風光る窓辺に	1	難産の中で自分を犠牲にしても、生まれてこようとしているわが子を助けたいと願う母親の思いを考えることを通して、生命の尊さに気づき、自分や友人の今ある命を大切にしようとする気持ちをもつことができる。	D 生命の尊さ
5月	8	先生にビールやっておくれ	1	山根のばあの人柄を考えることや、山根のばあから娘さんたちに受け継がれたことは何かについて考えることを通して、他者に対する温かい接し方や親切なかかわりについて考えることができる。	B 思いやり
	4	友だち	1	友だちを頼って宿題を写させてもらうことを当然のことと考えている明君の姿から、本当の友だちとはどういうものなのかを考え、よりよい友人関係に気づくことができる。	B 友情,信頼
	19	どうしてわたしたちが……	1	部活ができること、試合ができることをあたり前のように考えている生徒が、資料「どうしてわたしたちが……」を読み、恵美さんの心の変化を考え合うことを通して、周りの様々な人やもののおかげで自分が支えられていることに気づき、感謝の気持ちをもつことができる。	B 思いやり
6月	5	梅の香り	1	A中学校を卒業した小泉さんの手紙を読み、卒業生の心のもった植樹の仕方や世話について考えたり、剛さんの行為や義夫さんの気持ちについて話し合ったりすることを通して、卒業した先輩の学校に対する思いを感じるとともに、身近にある植物などを大切に育てていこうとする気持ちをもつことができる。	D 自然愛護
	28	早紀さんの時間	1	「わたしって、時間の使い方がへた」と話した早紀さんの気持ちを考えることを通して、主体的に時間を活用していくことの大切さに気づくことができる。	A 節度,節制
	31	甘さのない職場	1	職場体験をした「わたし」の率直な感想と疑問を考えることを通して、働くことの厳しさや意義に気づき、社会に役立つとうという意欲をもつことができる。	C 勤 労
7月	9	雨の日の昇降口	1	「いいよ、やっぱりかさいらないよ」と友だちの突き出したかさを断って雨の中へ駆け出していた杉本さんの気持ちを考え合うことを通して、「かさい本ぐらいは……」といった利己的な欲望や安易な気持ちを抑えていこうとする態度を育てることができる。	C 公德心
	29	どうしたらいいの……	1	大の仲よしであるのかかさんのわがままな姿や軽はずみな行動に対して、問題意識をもちながらも人間関係が崩れてしまうことを心配して何もできないでいるみりさんの気持ちを考えることを通して、本当の友だちや友情とは何かについて、自分の姿と重ね合わせながら考えることができる。	B 友情,信頼
	6	不愉快な一日	1	「ぼく」が不愉快になる理由を考え、自由ときまりについて話し合うことを通して、自他の立場や権利を尊重しながら、お互いが気持ちのよい社会生活を送るために、法やきまりを進んで守ろうとする判断ができるようになる。	C 公德心
8月	24	二度と会えない弟へ	1	つらい気持ちから逃れようとしていた真さんが、真剣に向かい合わねばいけないと思うようになった気持ちの変化を考えることを通して、生命の尊さに気づき、今ある命を大切にしようとする気持ちをもつことができる。	D 生命の尊さ
	12	心を一つに	1	「今年こそは金賞をとりたい。」と願い、合唱練習に取り組むクラスの中で、自分勝手な西田さんの態度を、山岸さん、中村さんの意識や行為と対比し、追求していくことを通して、進んで自己の役割や責任を果たしていくことが集団生活の和と向上につながっていくことに気づくことができる。	C 学校生活
9月	22	石井さんとわたし	1	普通に話してくれる「石井さん」に大きな声でどなってしまった「わたし」が、謝ってくれた「石井さん」のことばから、もやもやが消えていったときの気持ちを考えることを通して、周囲の言動に惑わされず、男女が互いに誠実さをもって行動することの大切さを理解することができる。	B 友情,信頼
	16	プールを歩いて渡った少女	1	Aさんがクラスのボスに言われた意地悪なことについて、自分ならどうするか考えたり、お母さんの願う「強い子」の意味を考えたりすることを通して、本当の強さとは何かについて、自分の考えをもつことができる。	A 希望と勇気

10月	27	森と湖の国へ	2	様々な不安や迷いに打ち勝ち、留学した海外のデュプロマで二時間の演奏を見事にやり遂げた「わたし」の生き方について考えることを通して、より高い目標を実現させていくために強い意志をもって努力することの大切さを理解することができる。	A 希望と勇氣
	10	彫刻家をめざして	1	修行を途中でやめなくなった気持ちを乗り越え、修行を続けていこうと決めた都さんの気持ちを考え合うことを通して、自分の迷いを謙虚に受け止め、地道に探究し続けることよき気づくことができる。	A 真理の探究
	23	地域に生きる人々	1	引き受け手のないごみ収集所を引き受け、近所の人々から「お願いします」と声を掛けられるようになったBさんの気持ちを考えることを通して、自分の利害にとらわれず、他者や社会のために奉仕する行為の素晴らしさに気づくことができる。	C 公共の精神
11月	14	六千人の命のビザ	1	主人公のユダヤ人を助ける行為から、私心を超え、自身を公のためにと前に進めさせたものは、生命尊重の気持ち、使命感、周囲の人々の支えに対する感謝、自分以外のだれかのためにという思いであり、主人公の心情と自分自身の心情や経験とを重ね合わせることで、正義を大切にすることが自身の内にもあることに気づくことができる。	C 公正,公平
	11	葉っぱのフレディ	1	四季を通じて、自然の摂理として生命は生まれ変わり、ずっとつながっていくことをフレディに語りかけているダニエルのことばの意味を考えることを通して、生命あるものは互いに支え合って生き、生かされていることに感謝の念をもち生命の尊厳に気づくことができる。	D 生命の尊さ
	17	りんごの並木	2	「飯田の特産物の『りんご』で、赤い実のなる街路樹を、りんご並木をつくりたい」という郷土を愛する生徒たちの高い理想とその理想の実現に向かって、多くの苦難を乗り越えていく生徒たちの姿を通して、高い理想をもち、粘り強く努力することの大切さを理解することができる。	C 郷土の伝統
12月	30	ネパールのビール	1	自ら請け負った買い物を大変な苦勞をしてやり遂げたネパールの少年チュトリ君の行動を考えることを通して、自分の果たすべき役割を誠実に果たし、その結果に責任をもつことの大切さに気づくことができる。	A 自主,自律
	7	夕飯のしたく	1	母の代わりにした夕飯のしたくと、部活動との両立にイライラして大声をあげた明美さんの気持ちを考えることを通して、家族の一員としての自分について考え、自分の果たすべき役割を考えながら、家庭生活を築いていこうという心情を養うことができる。	C 家族愛
	21	囁き	1	力の源となることばはどのような考えからでてくるのかを明らかにしたうえで、「人を心から嫌ったりしない」「いつまでも嫌っていいのよ」ということについて考えを発表し合うことを通して、自分のよさを明確にし、他者のよさも認めていくことが大事であることに気づくことができる。	B 相互理解
1月	25	表彰台へ、皆が支えてくれた	1	オリンピックで金メダルを獲得してもなお「我以外皆我が師」と思っている清水選手の生き方考えることを通して、目標をもって自己の向上を図り、よりよい生き方を追求していくことの大切さに気づくことができる。	A 向上心
	20	いつわりのバイオリン	1	名声を得るために弟子のバイオリンを自分が作ったように偽って売ったフランクは、良心の呵責から苦悩しているが、ロビンのバイオリン作りの誇りを知り、再びバイオリン作りの情熱を取り戻す心の変化を考えることを通して、自分たちにもフランクと同じような心の弱さがありつつも、弱さを克服する心ももち合わせていることに気づき、自分のもつ心の弱さに負けず、よりよく生きる姿を見いだそうとする気持ちをもつことができる。	D 生きる喜び
2月	32	心の底から	1	広隆寺の弥勒菩薩像に見入って不思議な力を感じ取る作者の心の動きを考えることを通して、美しいものに感動したり、人間の力を超えたものに対して敬けんな心をもったりする心情を培うことができる。	D 感動,畏敬
	26	ふるさとを守る人々	1	知人宅が火災になったときの消火活動への無念さから、いっそう訓練に励む消防団員の思いを考えることを通して、地域社会の一員として人々のために尽くすことの尊さを知り、社会とのかかわりの中で自分を活かすことの大切さに気づくことができる。	C 郷土の伝統
	18	青年海外協力隊員	1	高橋隊員が多くの苦勞をしてもなおバングラデシュのために頑張り続けた気持ちを考えることを通して、日本人の狭い考えを乗り越え、人類の平和と福祉に寄与することの大切さに気づくことができる。	C 国際理解
3月	13	祖国	1	世界のホームラン王である王貞治選手の回想から、日本人でない王選手が国籍の垣根を越えて第1回国民栄誉賞を受賞した意味と祖国（中国と日本）を愛する心情を通して、自分と国とのかかわりを考えたり、自分の生き方について考えたりすることができる。	C 我が国伝統
	15	若き日の中村不折	1	「不折」の生き方や、名前に込められた思いや願いを考え合うことを通して、高い理想をもち、困難にくじけることなくその実現のために努力する大切さを知ることができる。	A 希望と勇氣

信濃教育会編

わたしの築くみちしるべ 3年 主題一覧表

月	番号	主 題 名	時間	ね ら い	内容項目
4月	30	地下鉄の駅で	1	黙って重いベビーカーを階段の上まで運んだ二人の男性と、迷い、行動できなかった「わたし」との違いを考えることを通して、困難に直面している人に対して自然に援助できるよさに気づき、思いやりを行動に移すことのよさを感じ取ることができる。	B 思いやり
	14	ふと目の前に	1	「けしからん客だ」と決めつけた女性が視覚障害者だと知ったときの「わたし」の気持ちを考えることを通して、思い込みで判断することなく、その人の気持ちを理解して行動することの大切さに気づくことができる。	C 公正,公平
	6	熱球の軌跡	1	十五番の背番号を譲ろうと決心する田中君の気持ちを考えることを通して、自分の夢とチームの勝利との葛藤を乗り越え、マネージャーに徹した田中君の苦しみやつらさを実感することができる。	C 学校生活
5月	7	神様からのおくりもの	1	自分にとって家族とはどんな存在なのかを考え、家族の温かさや愛情に気づき、家族を大切に育てる。	C 家族愛
	4	語りかける目	1	阪神・淡路大震災による混乱と迫り来る死の恐怖という極限状態の中、母を残して逃げるという行為を選択した少女の気持ちに寄り添いながら、命の尊さやかけがえのないなさに気づき、これからの自分自身の生き方について深く考えることができる。	D 生命の尊さ
	26	出場辞退	1	県大会に出場することにこだわらなくなっていった「ぼく」の気持ちを考えることを通して、きまりを守らないことが周りの多くの人を悲しい思いにさせることを知り、集団としてのルールの大切さや厳しさを感じ取ることができる。	C 公德心
6月	18	自然から学ぶこと	1	筆者の自然に対する思いや、自分と身近な自然とのかかわりについて見つめ直し、自然の美しさや素晴らしさに改めて目を向け、自然と人とのかかわりについて考えることを通して、自然の偉大さを再認識し、身近な美しいものに感動する豊かな心をもつことができる。	D 感動,畏敬
	15	地震パン	1	震災にあった大勢の人のためにパンを作り続けた愛蔵が、金もうけをすることをせずに廉価でパンを売り続けた気持ちを考えることを通して、自分の立場で社会のために尽くしていくことの素晴らしさに気づくことができる。	C 公共の精神
	23	形	1	猩々緋の服折と唐冠の兜を貸し与えた新兵衛が、敵の槍に倒れるときどんなことを思ったのか考えることを通して、表に現れる姿形はときとしてその人自身の内面であり、外見からその人となりを判断されることもあることを理解し、服装や行動など表に現れる部分を大切にしていこうという気持ちをもつことができる。	A 節度,節制
7月	9	ええところ	2	自分自身や友達よさに気づき、互いに認め合い、高め合っていこうとする態度を育てる。	A 向上心
	22	県大会をめざして	1	正副部長として今までどおり中村さんと明るく接していこうと決意した「ぼく」の気持ちを考えることを通して、個人的な感情に左右されことなく、異性が互いのよさを認め合って協力することの素晴らしさに気づくことができる。	B 友情,信頼
	10	四一三球の戦い	1	困難を前にしても、強い気持ちをもってやり遂げる心情を育む。	A 希望と勇気
8月	12	うまれてきてくれてありがとう	1	C 家族愛：自分の成長を願い、無私の愛情をもって育ててくれた家族に対しての、敬愛の気持ちを深める。 (D 生命の尊さ：自分が今ここにいることの不思議さや生命の連続性に気づき、自分自身がかけがえのない存在であることに誇りをもち、自他の生命を尊重しようとする心を育てる。)	C 家族愛 (D 生命の尊さ)
	3	祖父の跡を継ぐ	1	20年に渡る厳しい祖父の指導を受けながら、一人前の宮大工になった「わたし」についてどう思うか考えることを通して、目標達成に向けた強い意志をもってやり遂げる素晴らしさを感じ取ることができる。	A 真理の探究
9月	1	霧の子孫たち	1	自然豊かな霧ヶ峰の植物を守るために活動する牛島さんの気持ちや、霧ヶ峰の自然に対する思いを考えることを通して、身近にある豊かな自然を守っていくことの大切さに気づくことができる。	D 自然愛護
	11	大鹿歌舞伎	1	村の人々に批判されても歌舞伎クラブの設立に尽力した片桐さんの思いについて考えることを通して、地域の伝統文化や文化財の継承・発展の大切さに気づき、自分たちの地域の伝統文化を自分たちの手で守り育てていこうとする気持ちをもつことができる。	C 郷土の伝統

10月	24	洋子さんのこと	1	洋子さんを元気づけようと教室の仲間を呼びに行こうとする「わたし」の気持ちを考えることを通して、間違っただけを友を傍観することなく、互いに高め合っていく友情の大切さに気づくことができる。	B 友情,信頼
	16	この子を残して	1	恐ろしい病気に冒されることがわかっていながら、他者の命を救うために放射線に身をさらし続けた永井博士の気持ちを考えることを通して、一人一人の生命はかけがえのない尊いものであることを理解し、自他の生命を尊重する気持ちを高めることができる。	D 生命の尊さ
11月	8	指導論	1	「先生に行けと言われたので」と話した陸上選手の才能が、埋もれてしまった理由を考えたり、自分で自分のことを決めるよさを考えたりすることを通して、自己決定に立った行動をし、自己責任を果たすことのよさを理解することができる。	A 自主,自律
	20	お守り	1	友より先に進路を決め、クラスや友のために誠実に働く正一君からお守りをもらった隆君の気持ちを考えることを通して、友人同士が互いに励まし合い、高め合うことの大切さを感得することができる。	B 友情,信頼
	19	木箱の中のえんぴつたち	1	自分にふさわしい生き方を実現するためには何が大切かを考え、自分らしさ（個性）や才能は磨き出すものであることを自覚し、自分の将来に希望をもつことができる。	A 向上心
12月	5	証城寺の狸囃子	1	苦学しながら「作曲家になる」という小さなころからの夢を実現させた中山晋平の生き方を考えることを通して、自分の夢の実現に向けて、苦難に打ち勝ち、自分の人生を切り拓いていくことの素晴らしさを理解することができる。	A 希望と勇気
	28	ひとときれの布	1	中国に一人残された清君を家族の一員として迎え、肉親と会えるようにと励まし続けた徐さんの気持ちを考えることを通して、民族の違いを越えて心に響き合う人間愛に支えられた気高い生き方を感得することができる。	B 思いやり
	27	明かりの下の燭台	1	集団の中の一員としての自覚をもち、自分に与えられた役割と責任を果たそうとする意欲を高めることができる。	C 学校生活
1月	31	巣立ちにあたって	1	窓口に来た市民にあいさつをするようになり、市民の態度の変化に気づいた職員の仕事の大切さを考えることを通して、あいさつや礼儀作法にかなった振舞いの大切さを感得することができる。	B 礼儀
	17	電車での出来事	1	電車内で男性のコート汚してしまい、相手の男性の「いいですよ。」という返答を受けて、変容していった「わたし」の思いを考えることを通して、他者とかわる際には、寛容、謙虚という気持ちを大切にしていこうとする意欲をもつことができる。	B 相互理解
2月	21	ごみ収集車のおじさん	1	バキュームカーを見て、反射的に鼻に手をあてたり、迷惑がったりしていた貴美子さんが、友だちの話や、ごみ収集車のおじさんと青木さんのおばあさんの対話を聞いて考えていく姿を通して、奉仕的・福祉的な心づかいをしながら仕事に取り組むことの素晴らしさに気づくことができる。	C 勤労
	13	ブータンの王国の農業の父	1	外国の人々や文化、伝統を大切にしようとする心を育み、日本人としての自覚をもって世界の人々のために尽くそうとする心を育てる。	C 国際理解
	25	記憶に残る学校	1	担任教師のこぼれ話や主人公が理解した先輩たちの思いと主人公の思いの深まりを追求することを通して、学校の一員として、学校の人や物に敬愛の気持ちや誇りをもち、よりよい行動をとっていかうとする気持ちを高める。	C 学校生活
3月	29	足袋の季節	1	おばあさんに40銭を返すことができなかった主人公の気持ちに寄り添って、腹が立ってどうしようもなかったときのわたしの気持ちを考えることを通して、自分の弱い心と向き合い、自分に恥じない生き方をしていこうとする意欲を高める。	D 生きる喜び
	2	環境問題解決のために	1	世界的な課題として取り上げられている環境問題を解決するためにどのような努力が必要かを考え合うことを通して、先人たちから受け継がれ、現在のわたしたち日本人の心に今も根付く、自然への畏敬の念、共存する思いこそが環境問題を解決するために必要であることに気づき、日本人として生きる自分自身は、これからどのような努力ができるのかを考えることができる。	C 我が国伝統

信教版道徳資料集『わたしたちの道』、『わたしの築くみちしるべ』に取り上げられている郷土の人

■資料集に掲載されている郷土の人を長野県全図にまとめました。

北信地方

- ① 高野辰之（作詞家）小5
- ② 中山晋平（作曲家）中3
- ③ 高井鴻山（儒学者、浮世絵師）小6
- ④ 浅井冽、北村季晴（県歌「信濃の国」）小4
- ⑤ 佐久間象山（兵学者、朱子学者、思想家）小6
- ⑥ 清水亀五郎（七十一歳の高校生）中1
- ⑦ 水野源三（瞬きの詩人）小6

中信地方

- ⑧ 丸山直也（スキー選手）小5
- ⑨ 荻原礫山（彫刻家）小6
- ⑩ 赤沼健至（山荘経営者）中3
- ⑪ 熊井啓（映画監督）中1
- ⑫ 相馬愛蔵（銀座中村屋）中3
- ⑬ 三村道益（木曾の薬草）小6

東信地方

- ⑭ 山極勝三郎（人工癌）小4
- ⑮ 若林順天（元安楽寺住職）中1
- ⑯ 星野嘉助（旅館業）小5
- ⑰ 市川五郎兵衛（水田開発）小5

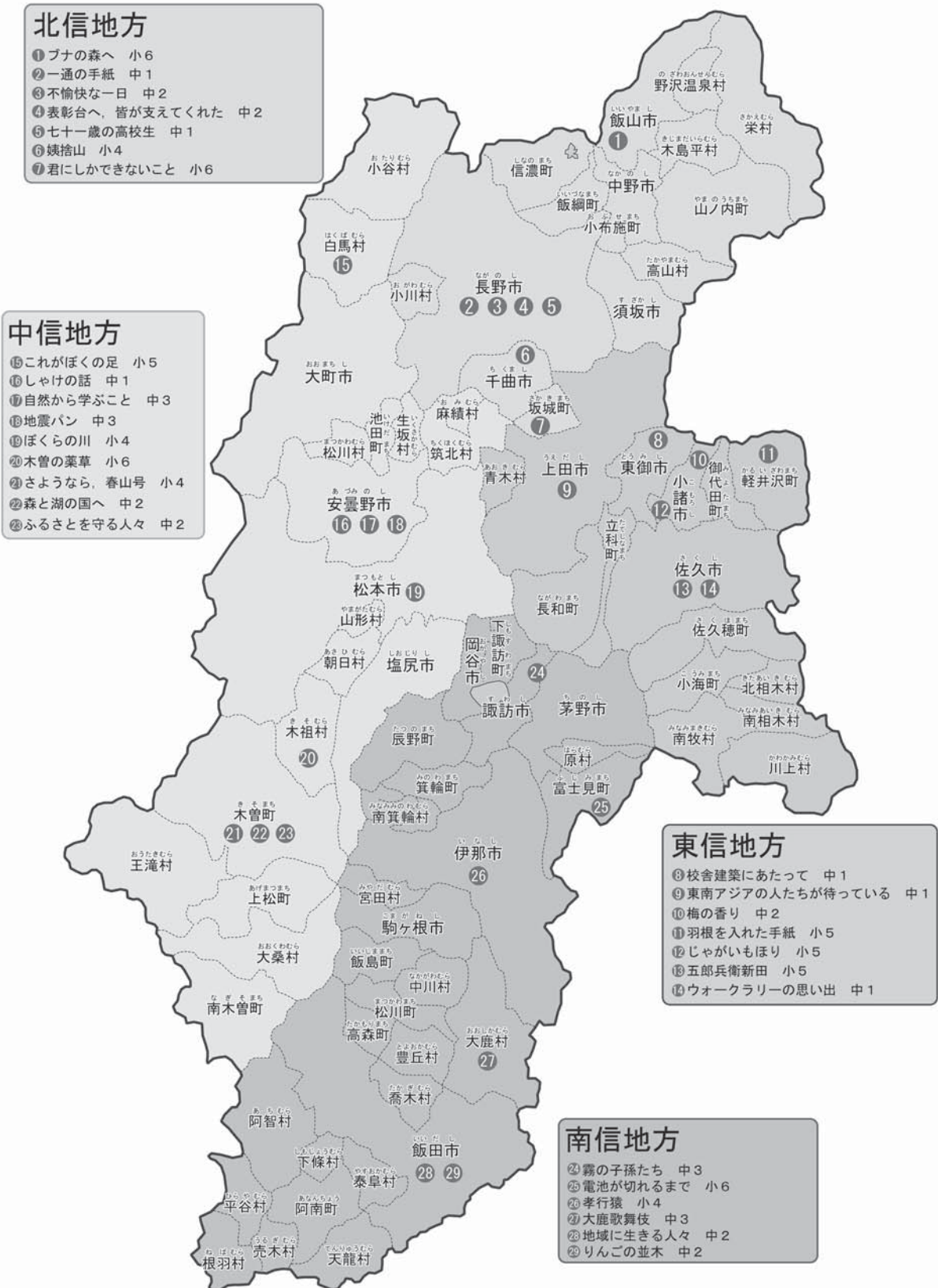
南信地方

- ⑱ 原田泰治（グラフィックデザイナー、画家）小5・中1
- ⑲ 岡村勝政（保温折衷苗代）小5
- ⑳ 宮越由貴奈（電池が切れるまで）小6（命あるかぎり）中1
- ㉑ 中村不折（洋画家、書家）中2
- ㉒ 片桐登（大鹿歌舞伎）中3
- ㉓ 菱田春草（日本画家）中1
- ㉔ 伊原五郎兵衛（伊那電鉄開通）小5
- ㉕ 岡村都（彫刻家）中2



信教版道徳資料集『わたしたちの道』、『わたしの築くみちしるべ』に取り上げられている郷土の資料

■資料集に掲載されている郷土の資料を長野県全図にまとめました。



信濃教育会編中学校道徳資料集
『わたしの築くみちしるべ』
2019年度版道徳教科書との併用資料

.....
平成30年11月 発行
一般社団法人信州教育出版社